

中学生に対する「職業体験」を支援

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 林1陸尉）は、1月29日、30日に横浜市立生麦中学校生徒5名、2月4日、5日に横浜市立市場中学校生徒8名に対し「総合的な学習の時間」の一環として、海上自衛隊横須賀地方総監部及び陸上自衛隊座間駐屯地における職業体験の支援を行った。

海上自衛隊横須賀基地では、港内体験航海や護衛艦の艦内見学を行い、乗組員の居住区画や艦内設備などを見学した。特に、艦長席は生徒たちに大人気で、我先にと座席へ向う姿も見られた。

陸上自衛隊座間駐屯地では、基本教練やテント構築体験、米軍と共同利用している国際色豊かな同駐屯地の施設・史跡などを見学した。

生徒からは、「とても貴重な体験ができ、自衛隊の仕事についてもっと知りたくなった」との声も多く聞かれた。

横浜出張所は、「今後も積極的に職業体験を支援し、自衛隊の仕事に対する理解を深めていきたい」としている。



気分は艦長



テント建ててみた



いざ出航！

神奈川法人会に防衛講話

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 林1陸尉）は2月5日（水）、新横浜プリンスホテルにおいて神奈川法人会に対し、神奈川地方協力本部長（夏井1海佐）を講師に迎え防衛講話を実施した。

本企画は、神奈川法人会会員より「本部長のこれまでの経験談を是非聞いてみたい」との依頼を受け、会員94名に対して「日本を取り巻く情勢と海洋における防衛等」と題し、スライドを交えながら護衛艦『みょうこう』艦長や第1ミサイル艇隊司令時の体験談を中心に講話した。

講話終了後にエレベーターホールまで追いかけてきて「大変ためになった。感動した」と声をかけてくる役員もいた。

横浜出張所は「今後も近隣企業に対し、自衛隊の活動を発信して防衛基盤の育成に努めていきたい」としている。



講話の様子